

帝国主義の腐朽性に抗し  
共同反革命を蜂起-内戦へ！  
共産主義者同盟（戦旗派）

# 戦旗

10月5日  
5日、20日発行  
361号  
編集発行人 鹿島 昂  
1部 50円

戦旗社

東京都新宿区番町10の8  
コーポハッピービルB1号  
電話 03 (356) 2982  
振替 東京26110

## 9.30天皇訪米阻止決戦、羽田現地へ

9.15伊勢神宮、葉山御用邸、防衛庁  
原宿宮廷ホーム、9.20東京御所に  
訪米糾弾の火炎ビン闘争貫徹！

全国の同志諸君！労働者人民諸君！  
七・一七一九沖繩海洋博覧会・皇太子訪  
沖阻止で火ぶたを切った激闘の三カ月の最大  
の頂点、七五年階級攻防の最重要環、アジア  
人民への血債にかけ九・三〇天皇訪米絶対阻止！九  
三〇決戦は今や目前に迫っている。  
三木・フォード会談に基く朝鮮共同出兵謀  
議、坂田・シュレジンジャー会談粉砕、九・  
一四日韓関係会議阻止に続き、天皇訪米絶対  
阻止の決意と覚悟を明らかにした、東宮御所  
一防衛庁一原宿駅一葉山一伊勢神宮を貫く  
九・一五一一二〇闘争と打ちぬいてきた激闘の  
三カ月の一切の成果をもって、九・三〇総力  
決起を実現しなければならぬ。

天皇訪米こそは、インドナ革命戦争の完  
全勝利、韓国民衆の不屈の反抗日闘争を先  
頭とするアジア人民の総決起に上つて、根底  
的な危機にあえぐ日米帝の反革命的、軍事的  
結託のあかしである。日帝三木戦争準備内  
閣は、これを通して安保一「韓」体制を朝  
鮮への出撃戦争遂行体制へと再編し、帝國  
主義天皇制攻撃によって日本人民を戦争へ動  
員せんとたくらんでいるのである。七月沖繩  
海洋博と皇太子訪沖による沖繩の朝鮮出撃基  
地としての打ち固め、八月三木・フォード会  
談、米韓安保協議会開催、坂田・シュレジン  
ジャー会談、日韓関係会議開催等、一連の政  
治過程はこのことを示して余りある。  
今こそアジア人民への血債にかけ  
金芝河・韓国民衆の血叫びに応じて  
日帝の朝鮮侵略反革命戦争を蜂起・  
内戦へ転化すべく闘いぬいていか  
なければならない。

激闘の三カ月の一切の  
成果を九・三〇天皇訪  
米絶対阻止へ！

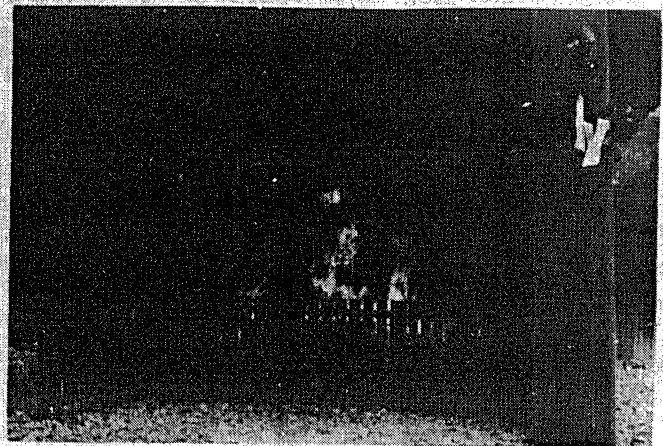
四・一七ブロンベン解放、四・三  
〇サイゴン解放、更にラオス革命派  
の決定的勝利によって、インドナ  
三国人民は米帝侵略者を打ち破り、  
カイライ政権を打倒したのみならず、  
まさに世界史の大転換を実現した。  
アメリカを先頭とする世界の帝國主  
義はハハリコの下ろしでしかないこ  
とが暴露され、全世界の被抑圧民族  
人民は限りない勇気を与えられ、自  
己解放のたまたかに立ち上がつてい  
る。帝國主義と反革命カイライども  
は恐怖と絶望におちいりながら、必

死の延命をかけて凶暴化の一途をたどり、よ  
りすさまじい人民抑圧、残虐への道をひた走  
っている。とりわけ日米「韓」反革命支配層  
は、韓国民衆の反日・朴打倒一南北統一闘争  
をおしつぶすべく、戦争体制へと移行してい  
るのである。

今や彼らはこのことを公々然と宣言しては  
ばからない。否、むしろ積極的に「危機」を  
呼び、侵略反革命戦争への国民総動員のため  
に攻撃を強化しているのである。彼らの発言  
をそれ自体として取り上げ、「そんな危険言  
ことはやめて下さい」と弱々しくお願ひする  
社共人民戦線派のような部分はその意味で  
すでに完敗している。われわれにとり必要な  
ことは、侵略反革命戦争の必然性と不正義、  
韓国民衆の反抗日闘争の正義性を積極的に  
暴露し、いかにたれかうべきかを明らかにす  
ることであり、なによりもベトナム人民が示  
した革命戦争の思想と行動で七〇年代中一後  
期をたれかいかき、蜂起・内戦に勝利するこ  
とである。

そのよりの戦略的展望の下に、九・三〇天  
皇訪米絶対阻止闘争に至る一連の政治過程  
階級攻防を「激闘の三カ月」として、われわ  
れはたれかかってきた。

天皇訪米の目的の第一は、朴反革命カイラ  
イ政権を韓国民衆・朝鮮人民から護持し、南



天皇訪米絶対阻止！闘う戦旗派の糾弾の炎燃えあがる（9.15伊勢神宮）



は、かゝる最高裁判上吉田体制にシテは、どの幻想もいなく、敗北主義に陥る。同時に「勝てばもうい」と敗北主義に陥る。大暴徒に阻せられ、たかひにいう石川一雄氏と共に、「日本革命の未来をかける」(石川氏「アヒル」)歴史の勝利に向って奮闘しなげられなければならないのである。

石川氏が無罪であることを百も承知で有罪判決を下したのである。たつた一つの真実さえも階級というメダカをとおして論じられなければならない。「自由」と客観的根拠の無い、死刑を免れたい一心から悪い構えをふせ真偽を交えて供したため」と寺尾は強弁してはならないのである。

これを打ち破り、狭山闘争の歴史的勝利と石川氏の完全無罪を勝ち取る道は、何よりも巨万の、昨年の九月決戦を数倍十倍する部

9.15  
9.20

### 天皇訪米阻止へ怒りの炎炸裂!

## 総力決起で9.30決戦の爆発へ

全国の同志諸君、戦闘的労働者、伊勢神宮こそ、天皇に「神」と安んじて「神」体制の戦争遂行としての精神的根拠を与え、日本人の再編成を促す。九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。

再編成の要となるものであり、日本人民、アジア人民にとって反革命の根拠地として位置する所なのだ。九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。

この政治決戦において一点の欠点もなく、明白に示された。九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。

九月十五日、わが革命的部隊は、天皇家の「支柱」となっている反革命拠点伊勢神宮に対する攻撃を貫徹し、天皇のつかみ出しにより、排外主義的人民統合を策する日帝「韓」体制の朝鮮出兵体制への

九月十五日、わが革命的部隊は、天皇家の「支柱」となっている反革命拠点伊勢神宮に対する攻撃を貫徹し、天皇のつかみ出しにより、排外主義的人民統合を策する日帝「韓」体制の朝鮮出兵体制への

九月十五日、わが革命的部隊は、天皇家の「支柱」となっている反革命拠点伊勢神宮に対する攻撃を貫徹し、天皇のつかみ出しにより、排外主義的人民統合を策する日帝「韓」体制の朝鮮出兵体制への

## 金芝河虐殺阻止!

### 日「韓」関係会議粉碎へ連続決起!

#### 安保「日」韓体制打倒の闘いを天皇訪米阻止へ!

全国の同志諸君、戦闘的労働者、伊勢神宮こそ、天皇に「神」と安んじて「神」体制の戦争遂行としての精神的根拠を与え、日本人の再編成を促す。九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。

### 愛知でも闘いの炎燃え上る

愛知でも闘いの炎燃え上る。九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。



全体集会へ向け意志を結集する労共闘部隊

機動隊と激突する決死の闘いを貫徹 (9.14六郷土手付近)

九月二十日、第二波の闘いは、現在の情勢の中であって、その反革命攻撃の強化と共にその頂点の闘いをなす天皇訪米を絶対的、無条件に阻止する。天皇訪米を阻止する決意を固くした。日「韓」関係会議の決意を固くした。



日韓閣僚会議は朝鮮出兵への道である／発言する労共闘の代表 (9.14闘争)

# 8.28

## 坂田・シユレジンジャーの反革命軍事会談許さず 労学一〇〇〇、防衛庁へ進撃

八月二十八日、防衛庁をにらむ  
神町公園において、日米帝の朝鮮  
出兵に向け共同謀議を坂田・シ  
ユレジンジャー会談粉砕闘争が  
千名の労働者、学生を結集して  
ちとられた。

天皇訪米絶対阻止闘争の三カ  
月をたたかぬに、日帝の朝鮮出  
兵を断固阻止する決意に燃え、労  
共闘の部隊を先頭に、装甲車、放  
水車等を配置した機動隊の  
銃と他の部隊も結集して、  
全体集会を宣言し、ついに全労  
共闘の同志は、インドシナ解放以  
降、日米両帝国主義が反革命命  
カライを韓国民衆の反抗日闘争  
から守り、韓国の支配を続けんが  
ために共同出兵をねらっているこ  
と、坂田・シユレジンジャー会談  
は、三木・福田会談に基く作  
戦要綱づくりであり、何としても  
粉砕しなければならぬことを鮮  
明に提起した。更にこの闘いを切  
り口として、日韓閣僚会議粉砕  
天皇訪米絶対阻止を朝鮮・アジア  
人民への血債にかけた九十九日取  
りつと訴えたのである。

### 11・18フオード闘争をうけつぎ、 天皇訪米絶対阻止へ！

#### フオード闘争被告団

三カ月の激闘の決戦を闘いぬこ  
うとされている全ての労働者学生  
市民のみならず、  
安保一「韓」体制打倒の大水  
路を切り開いた九十九日、八フオ  
ド阻止闘争の被告より、公判の報  
告と九・三〇へ向け決意を明ら  
かにします。  
現在まで、すでに二回にわたっ  
て検察側の証人尋問が行われ、国  
家権力は、われわれの正当な戦闘  
に對して、何とか凶器準備集罪  
を暴露していった。



隊列の先頭に立ち、闘争  
任務をはかる敵権力機動  
隊(8.28外務省近く)

九・二八天皇訪米絶対阻止労共闘総決起集会  
とき 九月二十八日午後五時  
ところ 代々木区民会館  
主催 全国労働者共闘会議  
全都筑波共闘  
基調提起 伊勢 洋  
全都高共闘

# 戦略的総路線なき足立グループ 誹謗・中傷・デマ政治の本質と末路

ボリシェヴィキ党建設に反対し、革命党と  
革命勢力による武闘路線に反対し、党の基本  
構造を課題別戦線に、基本路線を純プロ主義、  
青銅路線に改組せんと企てて、脱走し  
た足立グループの政治の内幕が、  
現在ますます明らかになりつつあることは、  
西田のバラ撒く「デマ」悪口政治が組織  
の骨格を露わらせ、反レーニン主義の道へのめ  
り込ませているという点であり、既存する  
対象を次々と変えつつ、党組織を本質的に作  
り出さないまま、共闘の対象により自らの性  
格もウラつけんとするエセ革命勢力構築論が  
ボリシェヴィキ党建設とは異なり、  
地平に、彼等の組織全体をひびき込んでいる  
という点である。

特にこの間より一層鮮明になりつつあるの  
は、西田のベテラン師範が純化し、カタ  
マルと同じデマ政治をその本質として全面開  
花していることである。  
それは特にこの間のわが同盟への対応とし  
て、七・一七を一つの区切りとしつつ、海解  
同池宮城グループをたきつけた後、遊撃隊に  
つたり(九・一三)の労活主催の日韓閣僚会議  
粉砕集会への対処という具合に、諸党派や  
諸グループに対してまであることなことを  
言いつつ、タレ込み路線をひたしついで  
る点にあらわになっている。  
つまり西田はカタマルと同じ組織戦術主義  
者ぶりを九出しに、戦術派包圍網をつくる  
ために「文化人提言」や「ボリシェヴィキ論」の  
ネットを急いでいるという点である。  
これこそは無思想な西田、主体性を西田  
が、彼の政治経歴のなかで学んだ政治技術の  
アルファであり、オメガの全的暴動である。  
われわれは今こそ、このタレ込み左翼の反  
動性と反人民性をあきらかにしていかなければ  
ならない。

言い換えるならば、このようなら、デマ、  
悪口を言いつくすことにより、自分は隠れか  
くれて他人を罵らし、戦術派にまじりこん  
だる策謀こそ西田政治の本質であり、彼が戦  
術派を分派、脱走する際にもうた手段であ  
り、その後一貫して継続しているベテラン手  
口であることを、徹底して広く全人民に暴  
き出し、訴えていかなければならない。  
われわれ戦術派は、このベテランのいすれに  
対しても、諸ベテラングループのいすれに  
対しても、解体を志向したり、敵対を試みたり  
する意図もないし、そんなことは  
全く考えてもいない。ただわれわれ独自の革命  
戦争の思想を構築し、われわれ独自のボリシ  
ェヴィキ・レーニン主義をつくりだすこと  
のみを追求していることは、はっきりと宣言す  
る必要があるのである。

岩山大鉄塔死守!

早期開港策動粉砕!

10・12三里塚闘争に決起せよ!

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

政府「空港公団の全面開港策が強まる中、三里塚芝山連合空港反対同盟は、一〇・一二三里塚芝山連合空港反対同盟を組織し、早期開港策動を呼びかけている。

同時に、日帝を打倒する日まで止むことのない三里塚農民の闘いに学び、戦闘的労働者の共闘をめざす必要がある。

かつて六〇年代に政府公団は、自ら作りだした開拓農民の貧困につけこんで用地を奪った。天根、木の根等移転を強制された土地には沖積を追い付いた農民が多く、帝国内閣府の犠牲のうちに、農民取壊一切捨てて見舞い、その苛酷を以て、土地を手放させたのだ。

人民を圧政によって更に分断抗争させ、侵略反革命空港をそれに乗じて作りだし、アジア出兵の尖兵も同時に作る策謀であった。

こうして帝国内閣府の分断策は、いま、純プロ主義の買収と屈服として重大な局面を生み出している。社会の闘争への敵対、その露骨な現われとしての、成田市取壊等の開港促進運動である。

空港反対決議を掲げる成田地区労組も加盟している成田市職組など十数支部が「開港の遅れを市財政がパンク状態となり、給料が出なくなる」として、「早期開港促進運動協議会」なる強硬な反対攻撃に出たのだ。

市財政の危機が反人民の空港政策自体に起因していることを押し隠し、農民、住民の利害に敵対し、自己保身だけを圖る露骨な攻撃、大規模な行進は当然に反対同盟の糾弾闘争をうけた。九・五のこの闘いによって反革命純プロ分子は空港内公団公保護下へ逃げこんで集会をもつに至ったのである。

社共は既に空港周辺の投機屋、不動産屋、日航等のうろたえて、回り、闘う農民、地権者、韓国民衆の敵になり下った。アジア攻撃軍の上立つ純プロ主義の腐臭を放つ姿こそがこの事件の根拠である。

日帝の人民分断支配に、革命的労働人民の団結で応えよ。マスコミを使っての「開港促進キャンペーン」や暴力、純プロ主義の裏切りには、密集し連帯する実力闘争で応えよ。

一切の反動、開港策に屈せず、たえざる闘争で闘い続ける反対同盟、青行隊と共に三里塚空港を粉砕せよ。

切迫する政府公団の攻撃に決起し、大鉄塔破壊を許さず闘い抜こう。鉄塔死守戦へむき直り、正統の結果をもつて、一〇・一二闘争に決起しよう。

一〇・一二三里塚空港粉砕全国総決起集会 主催 三里塚芝山連合空港反対同盟 (日時) 十月十二日(日) 正午より (場所) 三里塚第二公園(国鉄成田駅前より国鉄バス三里塚下車) (デモコース) 三時デモ出発 第三公園(国道二九六号) 空港グランド(岩山) 入口(岩山大鉄塔) 鉄塔にて流れ解散

九・三〇天皇訪米絶対阻止を實現し

安保・日「韓」体制の戦争遂行体制への

再編粉砕! 韓国民衆の死闘に応えよ

全国の同志、友人、兄弟達! 激闘の三ヶ月、一連の政治過程の連関をとらえきり、安保「日」韓体制の戦争遂行体制への再編を許すな

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。

七・一七皇太子訪米、海洋博開催をつうじ、沖繩全島の核軍事基地化と沖縄人民の反革命的反対闘争を激しくした日帝は、東シナ海釣魚台周辺の石油資源を射撃に人れつて七月二十三日宮沢外相を訪問させ、九月一日「韓」関係会議開催の地下をつくると同様に、朴一昧による反動的な人民弾圧へのテロ入れをこたない、韓軍事経済体制の破壊に対する年間闘争、日帝の資金援助準備をなし、韓「民主」に日帝がはたす役割を「韓」の民生安否に日本がはたす役割として討議し意志統一した。





略反革命戦争体制づくりを反対し、これを阻止すべしとを訴えた。又第三に十六万救済体制、被弾法弾圧体制を打ち破る蜂起・内戦の思想と行動を物質化すべく、まさしく実力闘争として決起しぬいた。

これらの闘いの総決算として、激闘の三ヵ月総力戦の最後の闘いとして、許すべからざるヒロヒトラーの訪米絶対阻止のための、九・三〇が迫りつつある。

戦後の清算が語られ、人間天皇が如何に高貴な人格の持ち主としてブルジョアリカがこの訪米に寛大さを見せようと、三十二年間の朝鮮支配の歴史、百年のアジア侵略の歴史は、何らかき消すことのできないものとして闘うアジア人民の、なかんずく韓国人民の脳裏にある。

「焼きつくし、奪いつくし、殺しつくす」

戦争の主謀者の責任が、未だアジア人民のまへに何ら明らかにならず、その血債が償還されていないことを想起せよ。

かつて日本人民がこの天皇ヒロヒトの下に大政翼賛させられ、侵略の尖兵に仕立てあげられ、八紘一宇の思想の下にアジア人民に暴虐の限りをつくしてきたことをおぼえ、朝鮮人民、中国人民、金日成抗日人民、ベトナムの闘いに連帯しえず、中国人民解放軍の闘いに支援を送れなかつたことを自己批判せよ。

今まさに、この朝鮮侵略反革命戦争の前夜に、現に韓国においては「事実上の戦争状態」が宣言されている時に、大統領緊急措置九号体制による大ファッション支配がおこなわれている時に、韓国民衆の死闘に連帯しえず、インドシナ人民の勝利に喜びを感ぜないならば、われわれは歴史の大罪を犯すことになること

を心に刻み込め。

九・三〇天皇訪米を、何としてでも、何をやっても、如何なる手段をこらしてでも阻止し、アジア最後の反革命生命線、安保一「罫」体制に死に水をとりせよ。

全党、全人民、全軍はうって一丸となり、団結の力によって総決起し、九・三〇天皇訪米絶対阻止を勝ちとり、七〇年代中期階級闘争の大水路をきりひらこう。

すべての同志、友人、兄弟連！

必死の形相もすこく、全身全霊をかけて、共に闘わん。

(七頁より)

革命的共産主義者への自己止揚の苦闘のなかで完全に燃焼され、打ちこわされていかなければならぬのである。

全国の同志、友人、兄弟連！

この天皇訪米絶対阻止の秋にこそ、われわれの主体的飛躍をかけた総力決起し、政治的思想的、組織的充足グループ、西田政治を現すえ、完全にわれわれ自身のモメントとしてのりこえよ。

不抜のボリッシュ共産建設の道を行く走り、革命戦争を闘い抜く思想をかみとり、武装せる戦旗派をつくり充そう！

蜂起・内戦に勝利するわれわれ自身のため

に、徹底してみずから人民思想で打ち破えよう！

そのうち、この西田のベテナ師政治を広く人民のまへに、あざむき出し、彼等にあつては広範な難反を開始し、個人に回帰してしまつた旧同志連と再反の意志の統一を打ちこみ、前進しつづける戦旗派建設を共に闘い抜くことをちかかろ。

現実を直視するならば、もはや西田のデア・愚口・ウソつき政治は破産産しているものであり、足立グループのジリ貧状態はますます速度を増しており、われわれがなかな充分であつたとしても基本的モメントにおける結着はつきつづあるのだ。

何よりも西田(非大下)ベテナ師路線では、

ガリッシュ共産建設にむかえないといふことははつきりしているものであり、このことの意味を深く認識し、広く明らかしよう。

西田のわいせきわまるタレ込みを許さず、われわれ自身の正すべき点は正して、その策謀を完全に打ち破れ！

西田(非大下)政治の右翼性、反レニ主義を見すえ、七三年夏分派時の彼等の「真珠攻撃」の再ならしさを決して忘れず、解党主義者、分裂主義者、ボリッシュ共産的結核の道を買徹せよ！

# 9・30天皇訪米絶対阻止闘争

日時 九月三十日早朝  
場所 多摩川緑地公園  
(目蒲線矢口渡駅下車)

## 「戦旗」販売書店

(関東)

- ▲東京
- 郁文堂 文京区本郷六丁目一七〇 電話八二一八〇二
- ウニタ書舗 千代田区神田神保町一五三 電話二九一五五三三
- かんたんむ 杉並区高円寺四丁目一四 電話三三二〇八九
- 苦悩舎 渋谷区恵比寿西二丁目一六六安田ビル 電話四六一六三五四
- 幻遊社 世田谷区北沢二丁目一三五 電話四一三一九六〇九
- コマバ書店 日黒区駒場二丁目一五 電話四六七九八七三
- 高野書店 豊島区池袋二丁目一三 電話九七一〇八四九
- 文蔵堂 新宿区戸塚一丁目四八〇 電話三〇三二九七六
- 文島堂 新宿区四谷一丁目四野原ビル 電話三三三二二〇三
- 明大生協 千代田区神田駿河台一丁目 電話二九三二二〇一
- 横濱文堂 品川区上大崎二丁目二七 電話四九一六七二二

(関東)

- ▲神奈川
- 吉祥寺ウニタ 武蔵野市吉祥寺本町二丁目二〇一七 電話〇四二二二二九六一八
- アブアン書房 国分寺市南町二丁目一八三三 電話〇四二二二二二二六〇
- ▲神奈川
- 川崎ルビコン 川崎市川崎区東田町四丁目一〇九 電話〇四四二二二二二五七八四
- ▲埼玉
- 上野台書店 上福岡市上福岡一丁目一五五 電話〇四九二二二二二二八五
- 盛文堂書店 狭山市入間川三十四丁目二〇 電話〇四二九二二二二二八二五